

あなたと私の公園、

## みんなで守る愛のエチケット

- 草花や木々、記念物や施設を大切に保護しましょう。
- 公園の施設はきれいに使いましょう。
- 飲食物の持ち込みおよび炊事はご遠慮ください。
- ここでの迷惑行為(騒音・飲酒・喫煙など)は慎んでください。
- 安全に楽しむため自転車やキックボードなどのご利用はご遠慮ください。
- ペットはしっかりとリードにつないでください。フンは飼い主が責任をもって始末しましょう。

### キョンイ(京義)線森の道のご案内

**公園の所在地** ソウル特別市 マポ(麻浦)区ヨナムドン(延南洞)~ヨンサン(龍山)区文化体育センター

**ご利用可能時間** 常時開放

**お問い合わせ** キョンイ(京義)線森の道公園管理事務所 02-719-8830

**交通アクセス** \*地下鉄

**ヨナムドン(延南洞)区間**|カジュワ駅(キョンイ(京義)線)、ホンデイク駅(2号線、キョンイ(京義)線、空港鉄道)

**ワウ(臥牛)橋区間**|ホンデイク駅(2号線、キョンイ(京義)線、空港鉄道)、ソガンデ駅(キョンイ(京義)線)

**シンスドン(新水洞)、テフンドン(大興洞)、ヨムニドン(塩里洞)区間**|コンドク駅(6号線)、テフン駅(6号線)

**セチャン岬-ウォンヒョロ(元曉路)区間**|ヒョチャンゴンウォンアップ駅(6号線)

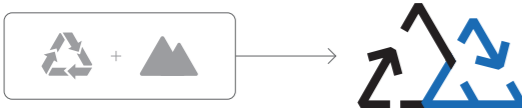
\*バス

各公園に入口まで徒歩5分の位置にバス停あり

\*詳細は裏面の地図参照

### 再び、緑の公園に

再生と森を意味する2つのマークを組み合わせてデザインされた再生公園マークは、放置されていた空間を再生して造成した環境にやさしい生態公園であることを意味しています。「キョンイ(京義)線森の道」は過去と現在を連結した、都心と森が共存する市民の憩いの場です。



ソウルの山と公園 parks.seoul.go.kr



### 都心を横切る文化プロムナード

## キョンイ(京義)線森の道

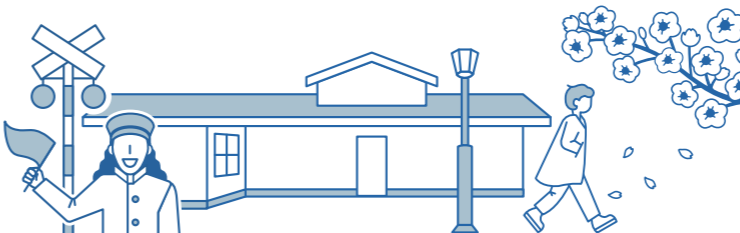
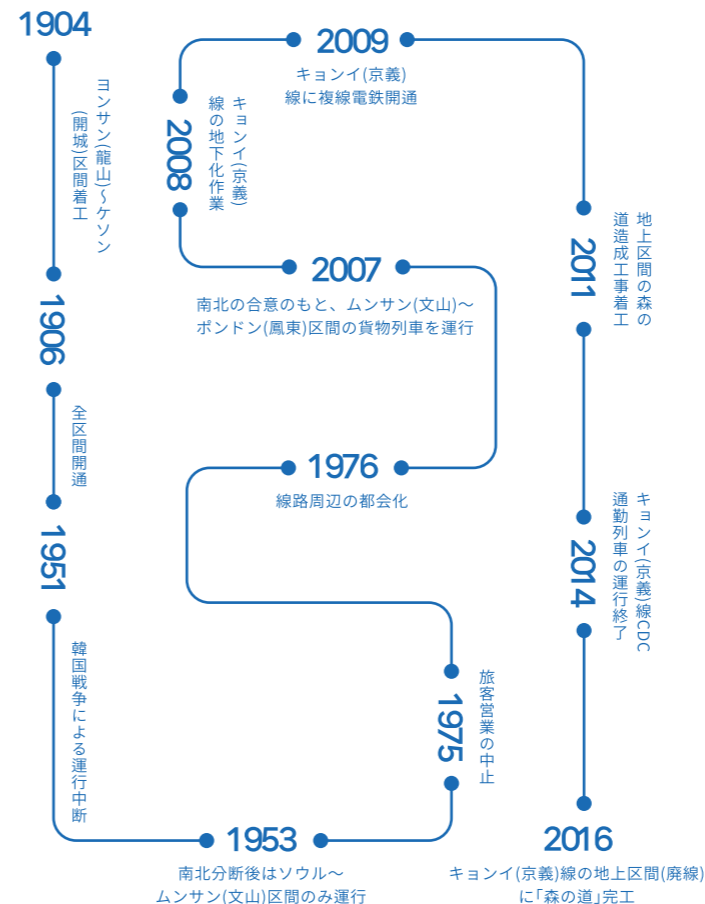
### 捨てられた線路から市民の文化プロムナードへ

「キョンイ(京義)線森の道」は、マポ(麻浦)区からヨンサン(龍山)区までをつなぐ全長6.3Kmの公園で、一般的な公園と違って細長いリボンのような形で造られているのが特徴です。2012年3月に造られたテフンドン(大興洞)区間から始まり、ヨムニドン(塩里洞)、セチャン岬、ヨナムドン(延南洞)区間、ウォンヒョロ(元曉路)、シンスドン(新水洞)、ワウ(臥牛)橋区間など、2016年に全区間を造り終えました。線路に沿って都心を横切る「キョンイ(京義)線森の道」はソウルの代表的なプロムナードであり、都心と森、過去と現在、世代と世代をつなぐ、誰でも気軽に利用できる市民の憩いの場です。

### キョンイ(京義)線運行年代記

鉄道から森の道へと110年間走り続けてきた足跡

京城の「京」と新義州の「義」としてキョンイ(京義)線と名付けられました。キョンイ(京義)線は、日本が韓半島を支配するため1904年から2年かけて建設した鉄道です。韓半島の南北を貫き、最も多くの路線とつながっていましたが、1950年に南北が分断されて以来、最後まで走ることのできない行き止まりの鉄道となってしまいました。



SEOUL  
MY SOUL

SEOUL METROPOLITAN  
GOVERNMENT

## キョンイ(京義)線森の道



## ヨンナムドン(延南洞)区間 約1.2km (徒歩約30分)

ヨンナム(延南)十字路口からホンデイク駅までの森の道のことです。森の道を歩いていると、所々に見える線路や簡易駅に似ている憩いの場から、この道が昔は列車が走っていた鉄道だったということがわかります。長く続くイチヨウ並木や860mの長い水の流れに沿って歩きながら「キョンイ(京義)線森の道」の美しさを満喫できます

主な場所  
芝生広場 / イチヨウ並木道 / (セギョチョン(細橋川)を再現した) 小川 / 鉄道

## ワウ(臥牛)橋区間 約370m (徒歩約15分)

ホンデ(弘大)前にあるワウ(臥牛)橋からソガンデ駅までの森の道は「ワウ(臥牛)橋区間」と呼ばれています。ここは点在する線路や列車が走っていた当時、「テンテン通り」と呼ばれていた踏切を当時の通り復元しており、他の区間よりかつてのキョンイ(京義)線の郷愁が深く感じられる区間です。

主な場所  
テンテン通り / 本の街 / 展望デッキ / 鉄道横の芸術村

## シンスドン(新水洞)・テフンドン(大興洞)・ヨムニドン(塩里洞)区間 約1.3km (徒歩約30分)

マポ(麻浦)区シンスドン(新水洞)区間ではソントンムルチョン(先通物川)やムスメクなど昔懐かしい思い出に浸ることもできるほか、テフンドン(大興洞)区間では春には満開の桜が満喫できます。またヨムリドン(塩里洞)区間はメタセコイア通りやケヤキのトンネルなどがある緑の憩いの場として親しまれています。

主な場所  
鉄道少女少女像 / 簡易駅憩いの場 / ソントンムルチョン(先通物川)

## セチャン岬・ウォンヒョロ(元暎路)区間 約960m (徒歩約25分)

コンドク駅からヒョチャン駅までの区間で、くねくねと曲がった道や開けた展望テラス、自然の岩石など韓国の昔ながらの趣を満喫できます。特にウォンヒョロ(元暎路)区間はヨンサン(龍山)区文化センターまでの区間で「キョンイ(京義)線森の道」のスタート地点でもあります。ここではキョンイ(京義)線の悠久な歴史と意味について振り返ることができます。

主な場所  
柳の憩いの場 / ヒストリーの壁 / 森の道広間

